

茨城県立日立第一高等学校の特色選抜の実施について

○プレゼンテーション、作文及び実技検査の実施内容

学科名	分野	プレゼンテーション	作文	実技検査
普通、サイエンス	文化	令和8年2月27日(金) ・午前9時～ ・個別でのプレゼンテーション ・テーマ「茨城県児童生徒科学研究作品展(中学の部)において、県展へ出展した個人研究について」 ・発表時間5分以内(準備の時間は除く) ・発表後、プレゼンテーションの質疑等の個別面接を5分程度		

注 特色選抜受検者は、令和8年2月27日(金)午前8時30分に集合すること。

○選抜方法の概要

学科名	分野	選抜方法の概要
普通、サイエンス	文化	学力検査の成績、調査書及びプレゼンテーション、面接の結果を総合的に判断して合格者を決定する。 ただし、学力検査の成績、調査書及びプレゼンテーション、面接の結果において著しい問題がある者については、精査する。

○特色選抜プレゼンテーション等当日の注意

- 学力検査受検票は、必ず持参する。
- 上履きは各自用意する。
- プレゼンテーションは、「口頭発表のみ」、「作品(茨城県児童生徒科学研究作品展(中学の部)県展出品のポスター等)を使用」、「PCを使用」、「作品とPCを使用」のうちから、1つ選んで行う。なお、プレゼンテーションの準備に使える時間は2分以内である。
- 様式第3号の3 活動報告書「5プレゼンテーションに使用する機器・資料について」において、チェックできる項目は、「PCや作品等の持ち込みをしない。(口頭発表のみ)」、「PC」、「作品」のみである。上記以外のものについては使用を認めない。読み原稿の持ち込みも認めていないので、注意すること。なお、活動報告書提出後に使用する機器・資料を変更することはできない。
- プレゼンテーションの時間には準備の時間を含めず、5分とする。5分を超えた場合には、途中であっても終了する。なお、時間は面接官の前にあるタイマーで確認することができる。
- 「作品を使用」してプレゼンテーションを行う場合の注意事項
 - ・作品は、茨城県児童生徒科学研究作品展(中学の部)の掲示物と同じ大きさ(模造紙(四六判 目安:788mm×1091mm)1枚、縦判)とする。
 - ・作品は県展へ出品した掲示物と同じものでも構わない。掲示物に破損がある場合や内容を深める場合には、新たに作成し直すことも認める。ただし、研究題名は変更しないこと。
 - ・検査当日は、作品をパネルに画鋸で掲示し、プレゼンテーションを行う。パネルから面接官までの距離は約1mである。指示棒を使用してもよい。
- 「PCを使用」してプレゼンテーションを行う場合の注意事項
 - ・ファイルは、PDF形式とし、そのファイル1つのみをUSBメモリに保存する。US

Bメモリはウイルス感染がないことを必ずウイルス対策ソフトで確認した上で持参すること。

・プレゼンテーションは本校が用意したPCにUSBメモリを接続し、65型電子黒板に資料を投影して行うこと。発表資料のサイズは、A4判横向き又は縦：横の比が「3：4」あるいは「9：16」とする。

・プレゼンテーションでは、PDFファイルにリンクを組み込み、インターネット回線に接続することはできない。持参する前に必ず、インターネットに接続していない環境で正常に作動するか、作成したPC以外でも正常に作動するか確認すること。

・提出用として、発表資料をA4判サイズに印刷（モノクロ、カラーは問わない。）した紙を1部作成し、検査日当日に持参する。

・検査日当日、受検者がUSBメモリを本校で用意したPCに接続し、USBメモリ内に保存したPDFファイルを、Adobe Acrobat Readerで開く。受検者は、電子黒板に投影されたPDFファイルを用いてプレゼンテーションを行う。PCの操作は受検生がマウスもしくはキーボードを使用して行う。USBメモリからPDFファイルを開くことができない場合には、提出した用紙を元にプレゼンテーションを行う。

- プレゼンテーション終了後に、その場でプレゼンテーションの内容についての質疑及び個別面接を行う。
- 受検生は、プレゼンテーション時に使用したUSBメモリ、作品を個別面接終了後に取り外してから退出する。
- 受検に当たっては、すべての係員の指示を受ける。